

悔しい思いが「やる気」に変わったとき

レジの他にはどんな仕事があるの？ コンビニエンスストアでの仕事内容に興味津々な生徒たち。まずは店内と外の掃除。外では丁寧に窓拭きをしていきます。拭き残さないようゴミ箱などをよけながら、隅々までピカピカに。気温の低い外で冷たい水に手を入れ、「雑巾を絞るのが辛いです。でも、使ったことのない掃除用具を使用できて、新鮮で楽しいです」。窓拭きが終わると店内へ戻り、床はぎや商品棚の清掃をしました。

「やっと掃除が終わった！」しかし休む間もなく、次はペットボトルの前出し作業。「奥にあって見えない商品がないように、店員さんがひとつひとつ前に移動させているなんて知りませんでした。「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」が恥ずかしくて言えなかったのが悔しかったです。将来仕事をするようになったときは、自信を持って言えるようになりたいです」と、いい社会勉強になった様子でした。

体験学習レポート

札幌市立幌東中学校 2年 長野 司

ぼくは、コンビニの仕事は、簡単だと思っていました。でも意外にキツくて毎回それをやっている人たちは、「すごいな〜」と思いました。

体験学習レポート

札幌市立幌東中学校 2年 武市 力也

今回ぼくは、この体験学習でいろんなことを学びました。働くことの大変さや、人への接し方など、とてもいい経験になりました。



「将棋、大好きなんです」

数日後に行われる大会の準備で大忙しの「北海道将棋連盟」。3人の生徒たちは「子供の頃から将棋は身近な存在でした！」と大の将棋好き。将棋盤や座布団などを順に並べていく作業では「人が背中合わせに座ってもぶつからない間隔を考えるといいよ」とアドバイスをいただき、どのように工夫をしたらちょうどいい間隔で並べられるのか自分たちで考えていました。座布団を先に配置したり、実際に座って間隔を確認したり、率先して動きました。微妙に違う駒台の高さをできるだけ近いものと合わせて並べたり、細かい作業がたくさんあり「家では将棋盤は一つなので、高さを合わせて並べたりするのは初めてでした」。ようやく一つの作業が終わり、次は駒磨きです。「脂をつけすぎると漆がとれちゃうんだよ」と、慣れた様子で駒を一枚ずつ磨きあげます。「連盟の方に将棋のことをたくさん教えてもらいながら作業をしていたので、楽しくてあっという間に終わりました」というように、充実した時間を過ごせたようです。



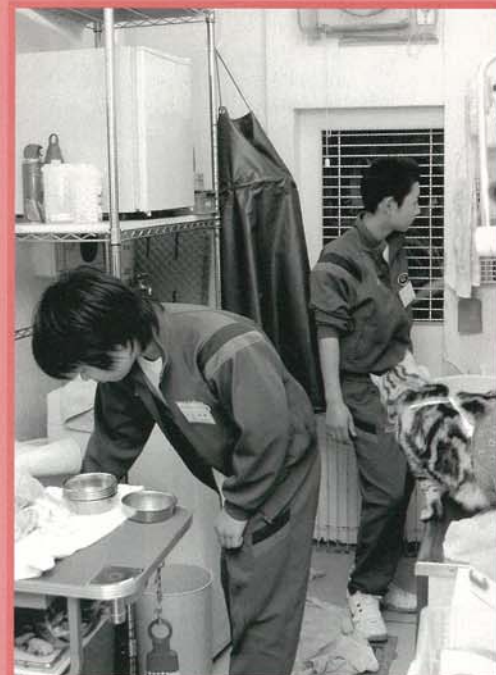
体験学習レポート

札幌市立幌東中学校 2年 新木 敦士・池田 友則・川口 晴輝

みんなで作業できたことが楽しかったです。将棋は大人から子供まで、誰でも楽しめるということを知り、将棋を知らない人にもっと伝えたいと言っていました。将棋の玉の守り方はいろいろあることを教えてもらったり、将棋の歴史をたくさん聞けたので、とても満足しています。将棋は決まったやり方がなく、人それぞれの方法があるので、改めて奥が深いなあと思いました。

「遊んであげたいけど、ちょっと待ってね」

「とにかく動物が好きです！」と、ペットショップでのでっ奉公を希望。「動物の世話をする仕事??」と予想していましたが、意外にも洗濯からスタート。それもただの洗濯とは違って、タオルの数がすごいんです！



「ペットショップってこんなにタオルを使うんですか？ この量のタオルを洗って干すのは大変なんだろうなあ」と、驚きを隠せない様子。夢中になって乾いたタオルを畳み、汚れたタオルは洗います。

床拭きでは、「かがんで床を拭いていると、遊んでもらえるとって犬や猫が寄ってきました。遊んであげたいけど、仕事をしなければいけないので辛かったです」「肉球についた汚れや抜け落ちた毛で床がすぐ汚れていくので、動物がたくさんいるお店は管理が大変なんですね」。棚卸作業では、商品の数を数えながら「これ私たちが普段食べているお菓子みたいでおいしそう」とワイワイ楽しそうに取り組んでいました。「最初から最後まで大変な仕事ばかりでしたが、やっぱり将来は動物に関わる仕事をしたい」と満足そう。



体験学習レポート

札幌市立幌東中学校 2年 山口 泰輝・岡本 啓太・北井 亜沙美・斉藤 菜摘

ペットショップではまず、掃除と洗濯をしました。そのあと、犬を洗ったりしました。ペットショップの裏(スタッフ室みたいな...)では3~4匹放し飼いわくわくして、結構触ってたら慣れてくれて、うれしかったです。

店員の人達は、本当に優しく、いろいろ教えてくれたし、普通ではできないような体験ができたので、とても楽しかったです。

「全てが楽しかった！」



「滅多に体験することができない貴重な仕事だと思ったし、興味があったのでみんなで希望しました」という、笑いが絶えない元気な女子生徒が集まりました。スタジオに入れてもらい、「こういうところから放送しているんだね」と興味津々。中でも一番盛り上がったのは、自己紹介のスタートトーク(ジングル収録)。二人ずつ分かれて文章を考え、それぞれ個性あるジングルが出来上がりました。「マイクで話す自分の声じゃないみたいで、変な感じがしてうまく話せませんでした」と、最初は慣れないマイクに戸惑いましたが、みんなで大笑いして和やかな雰囲気。何度も練習するうちにスムーズに読むことができ、「一度成功すると楽しいです！」と調子が出てきました。DJへの質問タイムでは、みんな聞きたいことがたくさん。「聴いている人が楽しめるように、をいつも心掛けています」というDJの言葉を忘れないように、少しでも近付けたらいいな」と、いつの間にかDJが目標に!?



体験学習レポート

札幌市立幌東中学校 2年 鶴家 桃

最初はこんな狭いところでできると思わなくてびっくりだったけど、だんだん教えてもらっているうちにものすごく楽しくなっていました。本当に人との関わりは大切だと思いました。

体験学習レポート

札幌市立幌東中学校 2年 佐藤 史織

とっても楽しかったです。本当に吉泉さんには感謝です。ラジオのDJは本当に大変な仕事だと改めて実感しました。そしてそれを体験できたのは、私たちにとってとても貴重なことです。何かの形で今後の学校生活に活かせればいいと思いました。